

令和5年度 授業改善推進プラン 音楽科

音楽科では、「曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付ける」「音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴く」「音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を養う」ことを目標とする。

課題

○知識・技能

- ・おおむね音楽の基本的な技能が定着しているものの、技能と「曲想にふさわしい演奏法や表したい思いを表す」と結び付いていない。
- ・読譜の知識や演奏の基本的な技能が身に付いていない児童は、すすんで楽曲に取り組むことに困難が見られる。

○思考・判断・表現

- ・楽曲のよさを感じ取って楽しみながら表現したり鑑賞したりすることはできるが、楽曲の音楽を形づくっている要素をもとに思考し、どう表現したり鑑賞したりしたらいいのか考えを深められていない。

○主体的に学習に取り組む態度

- ・単元を貫く目標や自己の課題を見い出せず、授業を受けている状況が見られる。

低学年…知識・技能

- ・体を動かす活動やリズム遊びなどを取り入れた表現活動を工夫し、体全体で拍の流れやリズムの違い、曲想を感じ取ることができるような学習を行う。

思考・判断・表現

- ・気づきや感じ取ったことをまとめたり発表したりする機会を多く設定する。

主体的に学習に取り組む態度

- ・自分の思いや意図をもち、創意工夫したり発表したりする機会を設定し、活動を認め励まして活動への意欲を高める。
- ・友達と声をそろえて歌ったり、音楽に合わせて遊んだり、体を動かしながら音楽を聴いたりする活動を通して、友達と一緒に表現する楽しさを感じられるようにする。

中学年…知識・技能

- ・楽譜を見てリズムや旋律、声部の重なり方、曲全体の構成などの特徴を確認したり、歌詞を音読して歌詞の内容を把握させたりする。

思考・判断・表現

- ・音楽の仕組みや要素を働かせて、実際に様々な奏法で演奏したりすることを繰り返し試す。
- ・曲想を表す言葉を教室掲示し、語彙を増やすことを意識して発言したり、相互評価したりするときの言葉を意識させる。

主体的に学習に取り組む態度

- ・めあてで提示したものを授業の終わりにふり返り、自己の学びの深まりや次回への目標を把握させる。
- ・ペアやグループ、学級全体で楽曲をつくり上げる上で、友だちと協働しながら音楽表現を生み出したり音楽を聴いてそのよさを見出したりしていく。

高学年…知識・技能

- ・音色の響きのよさや面白さを味わうとともに、演奏の仕方を工夫することによって音色や響きが変わることを、演奏を通して理解できるようにする。

思考・判断・表現

- ・思いや意図を言葉や音楽で伝え合ったり、実際に様々な奏法で演奏したりすることを繰り返し試す。

主体的に学習に取り組む態度

- ・めあてで提示したものを授業の終わりにふり返り、自己の学びの深まりや次回への目標を把握させる。
- ・ペアやグループ、学級全体で楽曲をつくり上げる上で、友だちと協働しながら音楽表現を生み出したり音楽を聴いてそのよさを見出したりしていく。